



平戸梨丘

発行：横浜市立平戸中学校 校長 山岸 和美
横浜市戸塚区平戸町993-4 Tel.045-823-8272

紫陽花に寄せて

教務主任 土門 郁恵

環状2号の道路わきのつつじが美しいなと思いながら通勤していたと思ったら、いつの間にか、紫陽花（あじさい）の美しさが目に入る季節となりました。知らぬ間に季節が変わったのかと思うほど、めまぐるしく過ぎ去った5月、6月。体育祭、自然教室、修学旅行、そして前期中間テストとあわただしい毎日でした。

さて、この「平戸梨丘」の巻頭文は、校長、副校長が一月交代で書いておりましたが、今号から様々な教職員でお届けすることとなりました。最初は、教務主任の土門（国語科）がお送りいたします。

紫陽花をなぜ紫陽花と書くのか気になったことはありますか？なんとなく、紫色の花が太陽のように丸い花だからと自分なりに答えを持っていました。今回、この文章を書くにあたり調べてみると、諸説あるようですが「藍色が集まったもの」を意味する「あづさあい（集真藍）」がなまったものなのだそうです。それを中国語表記の紫陽花にあてはめて、現在にいたっているようです。熟字訓というものです。ね。（熟字訓は3年生で習います。）

私は国語科のせい、紫陽花を見て語源が気になりました。みなさんは紫陽花を見て何を思うのでしょうか。紫やピンク、白の色の違いがなぜなのか気になったり、どこの地域が紫陽花の有名な場所なのか調べたくなったり、紫陽花が出てくる歌がないのか検索したり、紫陽花は英語で何というのか辞書を引いたり、紫陽花を上手に育てるにはどうしたらいいのか園芸の達人に聞いてみたり、素敵な紫陽花の絵をかいてみたくなったり、紫陽花の花【に見えるところは罅（がく）ですが】は偶数なのか、奇数なのか数えてみたり……。

（体育的な紫陽花へのアプローチが思いつきませんでした。）

一つの物や出来事でも、人によって気になることが違うはず。その気になったことをぜひ調べたり、実践してみたりしてほしいと思います。それが本当の「主体的に学習する態度」なのではないかと考えます。もうすぐ来る夏休みがいい機会ではないでしょうか。

